



名古屋部会(第 6 回)	
日 時 :	2016 年 4 月 23 日 (土) 15:00 ~ 17:05
場 所 :	椋山女学園大学星が丘キャンパス (名古屋市千種区)
参加者 :	[順不同・敬称略] 渡辺力樹 (愛知県立南陽高等学校) 中根大志 (名古屋高等学校・中学校/聖カピタニオ女子高校) 伊藤達也 (市立志段味中学校) 山根栄次 (三重大学) 市川雅歳 (名古屋経済大学市邨高等学校) 新井明 (上智大学非常勤講師) 杉田孝之 (千葉県立津田沼高等学校) 水野英雄 (椋山女学園大学) 他 全員で 9 名参加
【内容要旨】	
<p>椋山女学園大学星が丘キャンパスの教室を水野先生の手配により会場としてお借りし、第 6 回の名古屋部会を開催した。</p> <p>*****</p> <p>第6回の名古屋部会を経済分野の授業の展開や教材の紹介を目的に開催した。最初に水野英雄 (椋山女学園大学現代マネジメント学部准教授) より経済教育ネットワークの名古屋部会の本年度の活動について説明した。</p> <p>その後、渡辺力樹氏 (愛知県立南陽高等学校) より「金融経済教育の実践事例～体験型学習の効果的な活用法～」をテーマに、商業科の「ビジネス経済応用」における授業展開についてご紹介頂いた。「ビジネス経済応用」はビジネスに必要な経済に関する知識を習得させ、経済社会の動向を理解させながら、地域課題を解決するための新しいビジネスを考案できるようにするための科目である。ビジネス経済を教える目的意識を明確にした上で、起業教育としてのビジネスプランの作成や消費者教育・税教育としての産学連携による取組等についてご紹介頂いた。様々な取組を通じて生徒には多くの想定外の気づきがあること、チラシのような身近なものが何でも教材になること、学校と連携したい企業や団体は多いことなどを実践事例に基づいて具体的にご紹介頂いた。</p> <p>引き続き、新井明氏 (上智大学) より「主権者教育に経済の視点を」を、杉田孝之氏 (千葉県立津田沼高等学校) より「経済の基礎概念から設計する有権者教育の可能性」をテーマにお話し頂いた。新井氏からは選挙権が 18 歳からになったことで主権者教育の取組が重要になっていること、経済教育としては公共経済学の観点からの取組が考えられることが示された。杉田氏からは新聞記事等の豊富な資料に基づいて年齢構成のアンバランスによる世代間の問題等を踏まえた授業実践の方向性が示された。両氏とも今後の主権者教育の重要性、特に経済分野からの取組が必要であることが指摘された。</p> <p>新井氏からは経済教育ネットワークの活動の紹介と 8 月 4 日 (木)・5 日 (金) の名古屋での夏休み経済教室への参加の依頼が行われた。</p> <p>各氏のお話の後には活発な議論を行った。最後に、水野英雄 (椋山女学園大学現代マネジメント学部准教授) より経済教育の更なる発展のために名古屋部会としても活発に取り組んでいきたいこと、野村総合研究所主催のNRI学生小論文コンテストと名古屋証券取引所で行われている金融経済教育研究会についての紹介があった。</p> <p>次回については7月2日 (土) に椋山女学園大学にて開催することとした。</p>	



渡辺力樹氏（愛知県立南陽高等学校）



新井明氏（上智大学）



杉田孝之氏（千葉県立津田沼高等学校）



ディスカッションの様子

撮影と文責： 水野 英雄

次回開催予定： 2016年7月2日（土）15:00 ～17:00に、場所は椋山女学園大学星が丘キャンパス（名古屋市）。議題は、教材の紹介や経済教育の進め方に関するディスカッションほか。